

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



## 見事！子どもたちの大舞台

### 第23回 倉吉せきがね里見まつり

「倉吉せきがね里見まつり」(今年は9月7日(日)開催)は、滝沢馬琴作「南総里見八犬伝」のモデルといわれる安房国館山(千葉県館山市)の城主「里見忠義」公の終えんの地である倉吉市で、里見家ゆかりの人々を全国から招き、忠義公とその忠臣たちをしのび、弔う伝統のまつりです。

このまつりの「トリ」を飾るのが、子供歌舞伎です。出演する子どもたちはこの日のために、関金子歌舞伎保存会の指導を受け、夏休みを返上して猛練習しました。その甲斐あって、当日は山守小学校体育館のステージを舞台に、堂々とした立派な演技で客席を沸かせていました。



倉吉市制55周年

～今年、倉吉市は市制55周年を迎えます～

◀市制55周年記念ロゴマーク

ひらがなの「くらよし」と「55」を表す5つの頂点を持つ星で、きらめく55年間と、ともに手を携えて、輝かしい未来へ伸びゆく倉吉市民を表現しています。

#### CONTENTS

- 市制施行55周年に寄せて……………2
- 市制施行55周年記念式典……………3
- 写真で見る55年……………4～7
- 出かけてみよう……………8～9
- ハート・バリアフリー……………10
- インフォメーション・プラス……………11～13
- インフォメーション……………14～18
- まちのイベント……………19
- あんしんファイル……………20～21
- レッツ！介護予防……………22
- まちかどピンナップ/  
ソナ・チャン・イヤギ……………23
- 若者の定住化に向けて／人口……………24

# 市制施行55周年に寄せて



倉吉市議会議長 段塚 廣文



倉吉市長 長谷川 稔

## 昭

和28年を起点に、市制施行55周年を迎え、これまで倉吉市が歩んできた足跡を振り返るとき、市民の皆さん一人ひとりの参画と協力に感謝の気持ちで一杯です。先日、久米ヶ原台地に入植、開墾された人たちのお話で、最初に知った役所窓口は、地方事務所開拓課であったと聞き、全てが未整備だったことをうかがい知りました。

昭和の大合併で、本市では当時の倉吉町を、上井町をはじめ周辺の9町村が取り囲む現在の基盤が形成されました。この間、田園都市構想に始まり、「水と緑と文化のまち」そして、今、県中央の中核都市建設に引き継がれていきます。ここには脈々と3P、哲学のフィロソフィ、詩情のポエム、そして開拓

## 元気！再発進くらよし

## 倉

吉市市制施行55周年を迎えるに当たり、倉吉市議会を代表し一言ごあいさつを申し上げます。

倉吉市は昭和28年、町村合併促進法施行により全国的に推進された昭和の町村大合併の中で、当時の倉吉町、上井町、西郷村、上北条村、社村、北谷村、高城村、上小鴨村、そして灘手村の一部が手を携え、人口49,677人の大きな期待を担って誕生いたしました。

以来、県中部の要として、新しい都市建設の意欲に燃え、歴代市長を先頭に本日まで市民の皆様とともに市政発展のため、たゆまぬ努力を積み重ね、多くの課題を乗り越えて今日の倉吉市

精神のパイオニアスピリットが息づいています。金田元鳥取市長の回顧録、「夢は遠くにあれど」の中にも、今では全国有数の営農団地である久米ヶ原の造成も反対も強く、至難の末に完成されたとあります。その後、高度成長期を経て、あるいは地方からの人口流出

地域格差が如実に現われ、財政運営も厳しさを増すなか、分権と自立を目指す道として、本市は無理のないなかで、関金町との合併を実現し、新生倉吉市として、さらに魅力と厚みを増したところでもあります。

また、歴史を活かしたまちづくりを進めるうえでも南総里見忠義公の移封が倉吉に、その終えん地が関金山守であることも結びつきの糸を強いものに築いてこられました。

そして、地方分権の推進、少子高齢化の進展、広域的な行政需要の拡大など持続可能な行政が求められる中、平成の大合併においては、平成17年3月に関金町との合併を果たし新たな倉吉市がスタートしたことは記憶に新しいところです。合併後、本市が県中部の政治・経済・教育・文化の中心としての役割を果たす「新中核都市」の実現をめざし、行政運営に取り組んでまいりました。

合併後3年が経過した今、私たちは、めまぐるしく変化する社会経済情勢など、かつて先人たちが経験したものと異なった厳しい試練に直面

しています。

私たちの住む大地が蒜山を源流に森林から流れ出る水で田んぼを潤わせ、山脈によつて風の被害から家や農地を守ってくれていることに感謝の念を捧げます。これまでこの地に根を張って産業を支え、また近ごろ、すすんでこの地を選び、生きようとする人々に希望の一片でも作り出していかねばと意識しています。55周年は通過点です。本市は今でも昼間人口が多く、働く場スポーツや文化に触れ楽しむ場を広げていき、子育てや長寿の暮らしを楽しむことが出来る、活気溢れる市としていくため、周辺町との連携と分担を求め、定住自立圏の心棒の役割りを担っていくことを呼びかけご挨拶いたします。

しておりますが、この試練を乗り越えて、世代から世代へ受け継がれていく歴史と伝統を大切にしながら、中部地区全体の発展を願い、明日の倉吉市の進むべき道を切り開いていくことこそ、現代に生きるものの責務であると存じます。

市議会といたしましては、開かれた議会をめざして、更なる機能の充実を図るため議会改革に取り組むなど、市民福祉の向上に一層の努力を傾注してまいります。

終わりに、今後の限らない市政の繁栄と市民皆様のますますのご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして、私のごあいさつといたします。

“元気！再発進くらよし”

# 倉吉市制施行 55 周年 記念式典

倉吉市は、昭和 28 年 10 月の市制施行から、今年で 55 周年を迎えます。これをお祝いするため、次のおとりに記念式典と記念イベントを開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。



## 倉吉市制施行 55 周年記念式典

午後 1 時～

### ◆式典

- ◆功勞・善行表彰 ※手話通訳あります。
- ◆「市の鳥」発表
- ◆倉吉市イメージソング  
「倉吉城下町」披露 唄：麻土香
- ◆「くらよし元気体操」披露

### 同時開催

## 倉吉市政に関する展示・PRコーナー

時 間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

と ころ：倉吉未来中心アトリウム

## 倉吉市制 55 周年記念イベント NHK 公開セミナー

### 「司馬遼太郎がみた『街道』と文化」

午後 2 時 30 分～

作家・司馬遼太郎が昭和 46 年から 25 年間にわたって全国各地をめぐり、週刊誌に連載した「街道をゆく」をもとに、セミナーを開催します。 ※要申込

【一部】映像で綴る「因幡・伯耆の道」～因幡から東伯耆へ～

【二部】講演：「街道をゆく」からみえる日本の文化と精神  
～司馬遼太郎があるいた因幡・伯耆の道～

講 師：松本 健一さん（評論家、作家、麗澤大学教授、司馬遼太郎記念財団評議員）



略歴：昭和 21 年群馬県生まれ。東京大学経済学部卒業。法政大学大学院で近代日本文学を専攻。在学中の評伝「若き北一輝」で注目される。『白旗伝説』（講談社）、『三島由紀夫の二・二六事件』（文芸春秋）、『泥の文明』（新潮社）、など著書多数。

と き：10月11日(土)午後 1 時～(正午開場)

と ころ：倉吉未来中心 大ホール

入場無料

※問合せ先：総務課 ☎ 22-8162 / ☎ 22-1087



# 写真で見る55年

○倉吉市

□旧関金町

☆倉吉市・関金町政施行

○倉吉高等学校を倉吉東と倉吉西高にわけ

○市章・市歌を制定

□関金簡易水道工事完成

○市営火葬場新設

○国鉄美伯線(倉吉く津山)開通

○市庁舎完成

○小学校全校に完全給食

○軽自動車税うまれる

○商店に週休制実施

□関金小学校誕生

☆伊勢湾台風被害

○上小鴨・北谷保育園完成

○灘手簡易水道完成

○国府橋完成

□町章制定

○小鴨保育園完成

○倉吉福祉会館完成

○名誉市民制度きまる

□町民憲章制定

○西郷小学校が全日本健康優良学校特選校に選ばれる

□温泉掘さく進める

昭和28年 西暦1953年

1958

1963

昭和40年 西暦1965年



▲新市庁舎の完成(S31.12)



▲関金御幸行列(S30.10)



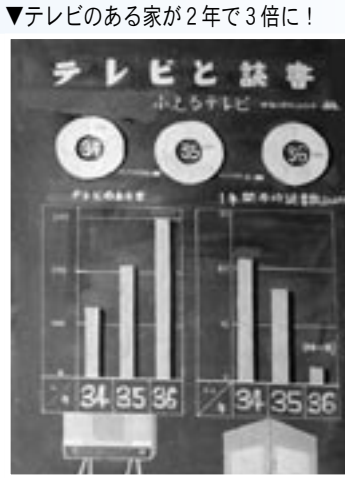
▲子ども遊園地が次々つくられ連日満員(S30ごろ)



▼県知事を迎えての完成式(S38.7)



▼駅前十字路に初の交通信号機(S38.11)



▼テレビのある家が2年で3倍に!



▼牛玉(ごおう)授け(撮影年月不明)



▲市制10周年記念事業はテレビの人気番組収録

▼因伯相撲(S37.8)



▲旧明倫小学校でラジオ体操(S32.8 全国放送)

▼北谷保育園完成(S35.5)



▲伝習農場前桜並木と馬車(S35.4)

▼東京オリンピックの聖火が市内を通過(S39.9)



55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41									
1978					1973					1968													
○国体準備委員会を結成	□関金町新庁舎完成	○倉吉北高校選抜ベスト8	○養護学校が長坂新町に移転	○初の名誉市民4人誕生	○第1回倉吉打吹まつり開催	○倉吉市公共下水道工事開始	□関金運動公園開園	○伯耆国庁跡を確認	○市営野球場整備	○玉川にコイを放流	○倉吉市土地開発公社設立	☆さよならSL走る	○市の木「ツバキ」制定	□まちの花「つつじ」制定	○倉吉博物館完成(S49年開館)	○小鴨小学校健康良好校日本一	□関金田植え唄踊り大阪万国博覧会で披露	○文化財保護モデル地区に指定される	○竹田橋拡張工事完成	○市花「つつじ」・市民憲章制定	□中央公民館完成	○高城保育園完成	○第1回みつぼし踊り市民大会開催



▲関金田植え唄踊りを万博会場で披露(S45.5)



▲プロ野球オープン戦 南海V S 阪神(S52.10)



▲横綱に昇進した琴桜関が郷土を訪問(S48.2)

▼青少年旅行村完成(S48.6関金宿)

▼関金小学校で避難訓練(S47.11)

▼市民相談車が市内を巡回(S47.8)

▼年の瀬を迎えにぎわう瀬崎町(S47.12)



▼プリンスメロンの出荷作業(S47.7)



▲土曜夜の歩行者天国(S50.8)



▲関金町内駅伝大会、堀中継点(S44.9)

▼関金町内スイカの出荷風景(S48.7)



▲倉吉駅庁舎改築 駅名も改称(S47)

▼70年間倉吉線を走ったSL(S40年代)





○ 倉吉市 □ 旧関金町

□ 関金町公共下水道工事開始  
 ○ 新小鴨橋完成

○ 倉吉スポーツセンター完成  
 □ 矢櫃保健指導所完成

□ 関金町歌制定  
 ○ 倉吉武道館完成

□ 関金海洋センター完成  
 ☆ 倉吉線代替バス出発式

☆ 第40回国民体育大会で倉吉市5競技 関金町1競技実施

○ 南部忠平杯第1回くらしよし女子駅伝開催  
 ○ シルバー人材センター発足

□ 町の木「椎の樹」制定  
 □ 関金橋が赤い擬宝珠橋に一新

○ 打吹公園が日本都市公園・桜の名所百選に選ばれる

○ 倉吉総合卸売市場が清谷に完成  
 □ 滝川親水公園完成

□ 観光歓迎塔「関金温泉」完成  
 ○ 旧倉吉警察署跡に勤労青少年ホームが移転

○ 明倫地区をモデルに資源ごみの分別収集を開始

○ 倉吉農業博覧会「フルーツコレクション倉吉93」開幕

○ 河北小学校新校舎完成  
 □ せきがね湯命館・都市交流センターオープン



▲第40回国民体育大会(S 60. 10)

▲倉吉線代替バス出発式(S 60. 4)

▲新設のプールではしゃぐ児童(S 58. 9 社小学校)

▼特急スーパーはくと号運行開始(H6. 12)

▼新町通りがカラー舗装に(H元. 4)

▼第1回子供歌舞伎(S 63. 9)

▼玉川にコイの稚魚を放流(S 60. 7)



▲フルーツコレクション倉吉93(H5. 8)



▲成徳小学校に打吹天女壁画が完成(H5. 12)



▲関金町民カラオケ大会(S 58. 10)

▼関金湯命館オープン(H7. 4)

▼関金橋が赤い擬宝珠橋に一新(H元. 4)

▼関金小学校1年生、給食センター見学(S 58. 1)



○ 出口橋・和田橋が開通  
 ○ 倉吉市大阪事務所を開設  
 ☆ 国道313号犬挟峠道路開通  
 □ 総合運動公園完成  
 ○ 打吹玉川の町並みが国の重要伝統的建造物保存地区に選定  
 □ 第1回せきがねかごかきレース開催  
 ○ 市民参加で第9次総合計画策定  
 ○ 倉吉パークスクエアオープン  
 □ 簡易宿泊施設「湯楽里」オープン  
 ○ 定例市議会をケーブルテレビで中継放送開始  
 ○ 倉吉観光案内所オープン  
 ○ 戸籍業務のコンピュータ化  
 ○ 二十世紀梨導入100年を祝し松戸市と交流都市宣言  
 ☆ 倉吉市・関金町合同成人式  
 ☆ 倉吉市・関金町合併  
 ☆ 徳島県吉野川市と「災害時相互応援協定締結」  
 ☆ ケーブルテレビ網が倉吉市全域をカバー  
 ☆ 若者子育て買い物応援事業開始  
 ☆ 倉吉市庁舎が国登録有形文化財に登録  
 ☆ 倉吉市制施行55周年



▲ 子育て総合支援センター「おひさま」開所式(H19.5) ▲ 倉吉市合併記念式典(H17.5) ▲ 第17回国民文化祭・とっとり2002(H14.11)  
 ▼ 第1回山陰KAMIあかり(H18.11) ▼ 市営温水プールオープン(H13.7) ▼ 円谷広瀬線が開通(H8.10) ▼ 道の駅「犬挟」でマスのつかみどり(H10.8)



▲ 「北条倉吉道路」開通(H19.3) ▲ 西倉吉消防署竣工式(H17.3) ▲ 大店会事務所が国の登録有形文化財に(H8.12)  
 ▼ 鴨川中学校体育館竣工式(H19.1) ▼ スポレク鳥取2006開催(H18.10) ▼ 浅井地区で新嘗祭の田植え式(H9.5)

